

「TAKARABUNE 2025 風のカタチ 空のキオク」開催要項

- 1 展覧会名：TAKARABUNE 2025 風のカタチ 空のキオク
- 2 会期：2025年3月19日(水)～23日(日) 各日とも10時～17時30分（ただし最終日は15時まで）
- 3 会場：埼玉県立近代美術館 一般展示室 1（さいたま市浦和区常盤9-30-1）
- 4 主催：SMF（サイタマミュージーズフォーラム）＊活動記録は <http://www.artplatform.jp>参照
- 5 観覧料：無料



6 趣旨：

SMF（サイタマミュージーズフォーラム）は、2008年から2017年まで埼玉県立近代美術館が、文化庁の支援を得て実行委員会形式で行ってきた事業から生まれました。この事業は埼玉県内の5つのアート系公立ミュージアムが連携し、それぞれの館や周辺地域を含む県内各地で、館内での展示や上演にとどまらず、公園や商店街でのアートプログラム、アート散歩やアートマップ作りなど、多彩なアウトリーチプログラムを含めて、アートでまちとひとつをつなぐプロジェクトでした。

この事業の実働部隊となったのがSMFです。SMFは美術、音楽、ダンス、建築、文学など、様々な分野のメンバーが集い交流する自由な集まりであり、身近な場所でアートを楽しみ、支援し、再創造するためのプラットフォームづくりをめざすプロジェクトでもあります。SMFの活動は「人々が集い参加し交流するための基地となり／地域や県民とともに進化する美術館を目指す」埼玉県立近代美術館のミッションに沿うものであり、連携する各美術館との交流や課題共有、文化資源活用に資するものです。

TAKARABUNEは、通常の団体展や公募展とは異なり、実現したいと思うアートプロジェクトの素を夢として自由に語り表現し共有する展覧会で、だれでも参加できるアートのプラットフォームをつくる活動を継続してきたSMFを象徴する企画のひとつです。本展に並んだ作品やアイデアが意外な人との出会いによって動き出し、幾つもの興味深い活動がここから発生し実現されてきました。

こうした企画を通じてアートに親しむ人たちの交流が豊かになり、埼玉県のアートシーンの人と人とを結び、稔り豊かな連携が構築出来ると考えています。みなさまのご来場をお待ちしております。

- 7 出展者：SMFメンバー、アート長屋入居者、協力アーティスト、他。計25名（組）程度を予定。（本展の趣旨に賛同していただける方なら、ジャンル、経験を問わず、どなたでも参加できます。）
- 8 出品作品：実現させたいアートの夢、アートプロジェクトの素となる「夢のシート」や実践したプロジェクトの「報告シート」、作品を通して夢を追求する「作品シート」など、出展者の現在地を示す「エントリーシート」の展示に加えて、関連する作品やインスタレーション、プロジェクト記録、パフォーマンスなど、多彩な出展構成を想定しています。
- 9 関連事業：アーティストトーク、ワークショップ、制作実演、パフォーマンス等を開催し、出展者と観客、出展者相互のコミュニケーション、交流を図り、プロジェクトの発芽を促す一助とします。また連携美術館各館とSMFが情報や課題を共有し次年度の協働を探る場を設けます。
- 10 記録集：本展終了後、各出展者の出展記録をA4判2ページにまとめていただき、記録集を作成、印刷製本し出展者・関係者に配布するとともに、Web上で公開します。
- 11 問合せ：メール takarabune2025.info@artplatform.jp（三浦・中村）
TEL 090-6138-4821（三浦）、090-2143-5243（中村）／ FAX：048-885-7859（三浦）